

視覚障害者向けデジタルテレビ放送音声受信装置の研究開発

テレビ音声受信装置の開発成功。製品化実現。

【平成23年度助成事業】

研究開発事業の概要と背景

2011年の地上波テレビ放送の完全デジタル化への移行が行われた際に、視覚障害者、また、視覚障害者の団体から「地デジ化がおこなわれることで、今までテレビ音声を聞いていたFMラジオが使えなくなり、困っている」という声が多数寄せられました。

地上波アナログ放送時は、テレビの放送をFMラジオで視聴されていた視覚障害者の方々ですが、地デジ化されたことにより、従来から利用してきたFMラジオを使って、テレビの情報を音声で入手するといったことが出来なくなってしまい、代替の手段を探しているという声を受け、研究開発事業に着手いたしました。

テレビ音声受信装置の開発

当初は、テレビと同じ放送が聞きたいとの要望があったため、フルセグとワンセグの両面から開発を検討したものの、利用者からの要望としてあげられていた「持ち運びの利便性」や「連続使用時間」などの問題からフルセグでの対応は難しいことが判明したため、ワンセグでの開発に切り替えました。



左上:フルセグサンプル、右上:ワンセグサンプル、下:製品

主な機能について

全盲の方でも操作しやすいように、音声ガイドを付与いたしました。

さらに、簡単な操作が出来るように、1ボタン1機能とし、通常であれば、深い階層での操作を要求される機能についても、1ボタンでのみの操作を可能とし、利便性の向上を目指しました。

安全性に配慮するため、内蔵アンテナを採用しましたが、電波の届かない地域での利用も想定し、外部アンテナでの利用も可能とする設計を行いました。

また、3.11震災直後ということもあり、利用者の安全を確保するための機能の付与が求められたことか

ら、機器を緊急警報放送へ対応させることにより、災害時の情報入手を自動的に行うことが出来るようにする機能を付与致しました。

さらに、緊急時に少ない手順で目的となる放送局から情報入手するため、マイチャンネルボタンを採用し、2ステップで目的の放送局へ切り替えることが出来るようにしました。

また、解説放送への切り替えを簡単にやりたいという要望があったため、音声切換ボタンを独立して設定いたしました。

事業化の状況

2011年8月に事業の受託を行い、2012年6月に開発を完了いたしました。その後、2012年10月に製品の発売を開始いたしておりまして、視覚障害者関連団体にてお取り扱いをいただいております。

貸出機を用意し、体験していただいた上でご購入いただけるよう配慮を行っています。

また、現在、一部の市町村にて、日常生活用具として認定されております。

今後の展開

今後の展開としましては、引き続き視覚障害者団体を通じての販売を行うとともに、一般向け販売として、平成25年から全国電機商業組合加盟の電気店にて、製品の取り扱いを開始いただいております。

また、より多くの地方自治体にて、日常生活用具給付等事業の対象用具として認定をいただくための働きかけを行っていきたくと考えております。

事業実施データ

加美電子工業株式会社（大阪府）

開発にあたり、下記団体からモニター等のご協力を頂戴いたしました。

社会福祉法人日本点字図書館様

社会福祉法人日本盲人会連合様